

# 平成 30 年度 第 4・5 回 合同番組審議会 議事録

## 1 開催年月日

平成 31 年 2 月 5 日 (火) 午前 10 時～午前 11 時ごろ

## 2 開催場所

砺波市太郎丸 2-129 北日本新聞社砺波支社 会議室

## 3 委員の出席

委員総数 5 名

出席委員数 4 名

委員の氏名 (◎委員長 \*欠席、書面にて回答)

- ◎ 飯田 敏雄 (89 歳、男、元砺波市文化協会会長)
- 西森 昭治 (45 歳、男、元砺波商工会議所青年部会長)
- 小幡 豊 (69 歳、男、砺波市文化会館館長)
- 河合 要子 (52 歳、女、KO・RA・RE 代表)
- \* 石村 修子 (40 歳、女、千華園勤務、グリーンアドバイザー)

## 放送事業者側出席者名

- 河合 常晴 (株式会社エフエムとなみ 代表取締役社長)
- 古井 裕人 (株式会社エフエムとなみ 取締役業務部長)
- 高信 静枝 (株式会社エフエムとなみ 放送課長)

## 4 協議事項

### 1. 放送番組に対する評価

《対象番組》

- ・知財さんぽ (2018 年 12 月 16 日放送)

生放送番組「HAPPY SHOWER」内、毎月第 3 月曜日に放送しているコーナー。  
砺波市在住、弁理士の開口宗昭さんを迎えて、知的財産（特許、実用新案、意匠、著作権）などについての知識を深めてもらうことをコンセプトに放送している。  
2018 年 12 月 16 日放送回は、ゲストに弁理士の橋爪慎哉さんを迎え、最近の弁理士試験の状況や弁理士の仕事に対する思いを伺った。  
(進行：古井裕人)

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

- ・ザ・エンカミチ～なんなんロックです！～（2018年12月11日放送）

演歌は日本のロックです！をコンセプトに、演歌・歌謡曲を紹介する30分のプログラム。毎週テーマに沿った曲を選曲し、その曲の情報を交えて紹介している。

ナビゲーターの独特の言い回しで、幅広い世代に演歌・歌謡曲の魅力を伝えたいと考えている。

2018年12月11日放送回は、リスナーからのリクエストをもとに選曲したプログラム。

（進行：白柳越子）

2. 砺波市の広報番組に対する意見

3. 4月からの改編に対する意見

## 5 議事の概要

社長、委員長の挨拶に続き、協議へ。2つの番組に対しての感想やご意見をいただいた。

その後は、砺波市の広報番組や4月改編などについて意見交換を行った。

## 6 審議内容（各委員の発言を要約して箇条書きで記載）

### 【小幡副委員長】

- ・「知財さんぽ」について

知的財産は国際的問題で関心が高まっているが分かりにくい分野。番組で取り上げるのはよいと思う。

今回は弁理士の資格についてだったが、一般的な知財についての問題も取り上げているのであれば、普段の生活で関係すること、身近な切り口で紹介してほしい。

専門家が一般市民の問いかけに答えるといったスタイルがいいのではないかな。

- ・「ザ・エンカミチ」について

とにかく聴いていて楽しかった。

曲が聴きたい人、トークを楽しみたい人、好みはあると思うが、番組の途中から聴いても分かりやすい構成がいいのではないかな。

曲の聴き方のヒントをもらえてよかった。

進行役の自分なりの解説やコメントがあってもいいと思う。

### 【河合委員】

- ・「知財さんぽ」について

難しそうな内容を柔らかく解説していてよかった。

開口さんの人柄か、ラジオというかんじではなく普通に喋っている雰囲気が聴きやすかった。

弁理士資格の難しさを知れてよかった。もっと知りたいと興味がわいた。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

・「ザ・エンカミチ」について

語り口が特徴的で、AIにも聴こえ、何が始まったのかと少しショックを受けた。  
演歌番組なので、もう少し人情味というか、進行役の感想、意見などがあってもよいのではと感じた。

【西森委員】

・「知財さんぽ」について

弁理士についての知識がなかったので、専門用語も含め、少し説明があってもよかった。  
3人の役割分担はよかったが、ゲストの話をもう少し聴きたかった。  
お茶を飲みながら話しているような感じで、楽しく聴けた。

・「ザ・エンカミチ」について

面白い語り口で、演歌番組だが若い人にも関心を持ってもらえるのではないかと。  
もう少しトークがあってもいいような気がしたが、演歌好きならば曲メインで聴きたいのかとも思った。

【石村委員】 \* 書面にて回答

・「知財さんぽ」について

進行役が、「インソツ」を「大学院卒」など分かりにくい言葉を言い直して、聴取者目線で丁寧でよかった。  
弁理士の試験内容など難しい内容だったが、40歳から転職して、現在やりがいのある職に就いている姿に勇気をもろう人も多いと思う。最後をよい形で締めてくれてよかった。

・「ザ・エンカミチ」について

独特の語り口、名前からも“黒柳徹子”さんを意識しているのかなと思わず笑ってしまった。  
今までのタイムテーブルにない、「曲をじゃんじゃん流す」という突き抜けた番組構成で、歌好きの人には本当にハマる内容だと思う。

【飯田委員長】

・「知財さんぽ」について

知的財産については国際的にも関心が高い。  
知財について考えるよい機会になるのではないかと。

・「ザ・エンカミチ」について

新しい切り口の番組で楽しく聴けた。チャレンジしていることをうれしく感じた。  
楽曲の背景や、作詞家が歌詞に込めた思いを紹介すると、もっと深みが出るのではないかと。  
テレビであれば背景の映像を、ラジオの場合は言葉で伝えてほしい。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

・ 砺波市の広報番組に対する意見

砺波市より広報番組のリニューアルの打診があったため意見を求めた。

【西森委員】

現在のスタイルは、内容も聴き取りやすく、テンポもよいと思う。

行政の情報は、決まった時間に決まった形で放送するから伝わりやすいのではないか。

脚色することで、逆に分かりにくくなるようにも思う。

【河合委員】

情報は分かりやすく、聴きやすい。

改良するならば、お知らせごとにトップコメントを付けるのはどうか。

【小幡副委員長】

いろいろな分野の内容も入っていて、この時間でこの内容であれば現在のスタイルで妥当。

行政側がどんな情報をどんな形態で伝えたいと考えているのか知りたい。

市民への情報を、どうすればよりよい形で提供できるのか、行政にも一緒に考えてほしい。

【石村委員】 \* 書面にて回答

繰り返し伝えることは、決して悪いことではないと思う。

脚色するならば、市担当者とのやり取りの形にするのはどうか。

・ 4月改編に対する意見

【飯田委員長】

広報番組では、市民に知らせたい情報が優先されがちだが、それだけでなく、市民が知りたい情報、知るべき情報など、市民（聴取者）目線で、ニーズに応じた番組作りを考えてほしい。

- 7 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日  
平成 31 年 2 月 6 日付北日本新聞朝刊に記事を掲載した。FM となみの HP 上でも公開。

以上

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------